

「分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けよう」

～二文を一文にしたり、「例えば」を使ったりして文章を書くことができる～

科学読み物を読み、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、この課題を解決するために、B2 設問二の誤答例に応じた具体的な手立てを示します。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象にしています。

授業アイデア例

B2 設問二の誤答例にはどのようなものが？

設問二

原田さんと野口さんは、書いたふせんを整理しながら【疑問】に対するまとめを書いていきます。【野口さんのまとめ】の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、【原田さんのまとめ】の書き方を参考にし、次の条件に合わせて書きましよう。

条件①
【野口さんのふせん】③と④の両方を使って書くこと。

条件②
【野口さんのふせん】③の内容については、【科学読み物】の 部の二文を一文にして書くこと。
また、④の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。

条件③
書き出しの言葉に続けて、100字以上、120字以内にまとめて書くこと。

誤答傾向①
二文を一文にして書くことができない。

■誤答例

✕ 水場や食べ物をさがすこともできる。また、においのちがいで仲間を見つけることもできる。

✕ 水場や食べ物をさがすことができる。さらに、においのちがいで仲間を見つけることもできる。

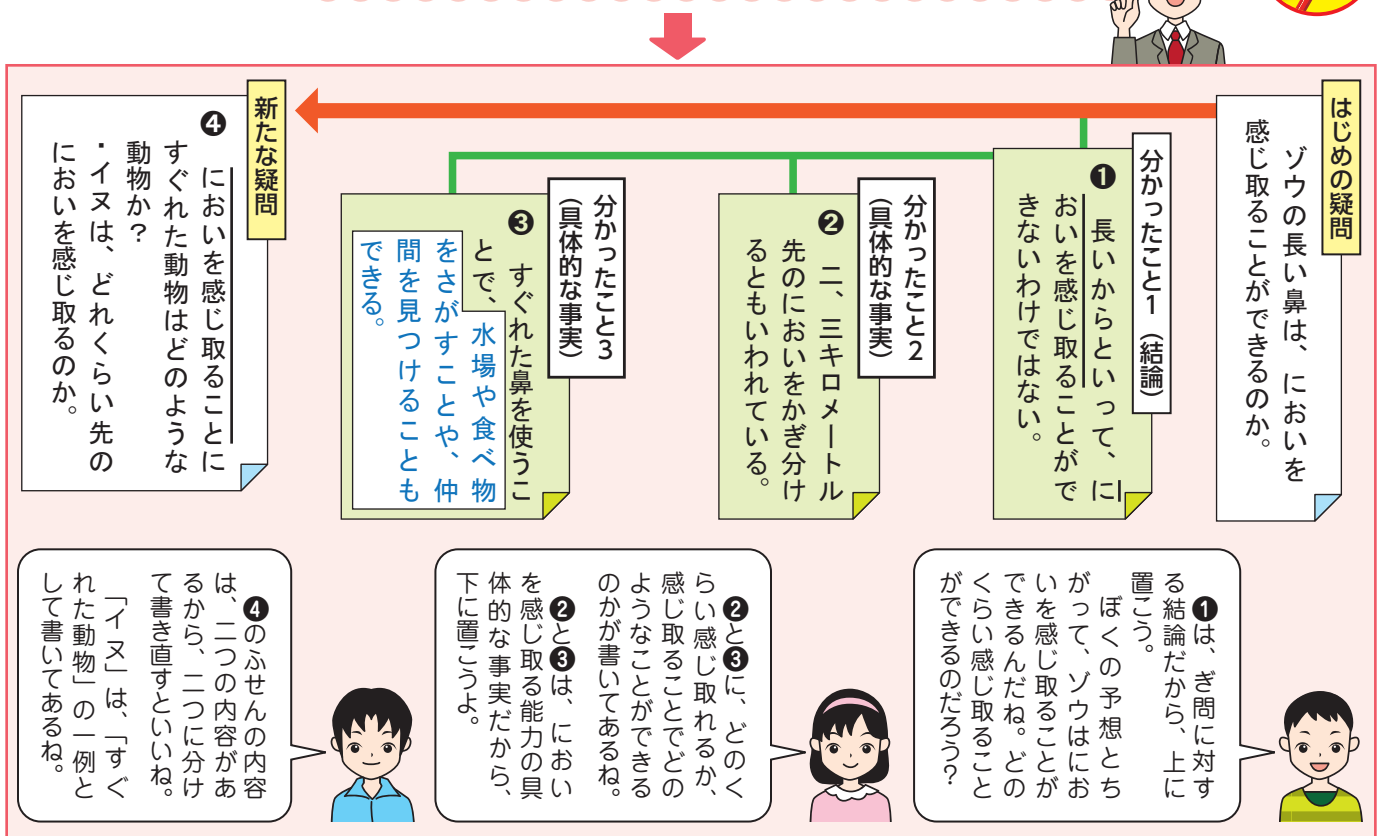
誤答傾向②
「例えば」を適切に使って書くことができない。

■誤答例

✕ 調べていくうちに新たな疑問も出た。例えば、においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物かということだ。イヌは、どれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。

誤答傾向①②の
解決のその前に…

【野口さんのふせん】の全体の構成を捉えることが大事！



B ② 科学に関する本や文章などを効果的に読む〈動物の鼻〉

B ② 二 正答率 **27.1%** 付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く

〔第5学年及び第6学年〕 B ウ

〔第5学年及び第6学年〕 C ウ

誤答傾向①に対する手立て 文と文をつなぐ方法を考え、二文を一文にして書き直す

◎文と文をつなぐ方法

方法① 「～たり、～たり」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこと**や**、仲間を見つけた**り**することができる。

方法② 「～や」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこと**や**、仲間を見つけた**り**することができる。

方法③ 「～も、～も」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこと**も**、仲間を見つけた**り**することができる。

方法④ 「～こと、～こと」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うこと**で**、水場や食べ物をさがすこと**も**、仲間を見つけた**り**することができる。

■本文

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけたこともできます。

■誤答例

× **例一** 水場や食べ物をさがすこともできる。また、においのちがいで仲間を見つけたこともできる。

× **例二** 水場や食べ物をさがすことができる。さらに、においのちがいで仲間を見つけたこともできる。

■誤答例について

例一は、本文をそのまま写しており、一文の意味を正しく理解していません。

例二は、接続語を別の接続語に置き換えているだけで、文と文のつながりを理解していません。

誤答傾向②に対する手立て 「例えば」を使って、文と文の関係を整える

■正答例

においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。**例えば**、イヌは、どれくらい先においを感じ取るのか調べたい。

「原田さんのまとめ」の中のカバやブタが、「野口さんのまとめ」の中のイヌに相当するんだね。

新たな質問として鼻の短い動物の鼻の役目に注目しているね。

その具体的な事例としてカバやブタを取り上げているね。

「原田さんのまとめ」の中「**例えば**」はどのように使われているか。

「原田さんのまとめ」の中「**例えば**」はどのように使われているか。

本授業アイデア例・活用のポイント

- 本問は、「自分の課題を解決するために科学に関する本や文章などを効果的に読む」という言語活動として位置付けることができます。単元の学習過程としては、次のような流れが考えられます。

①問題の把握
課題設定

②予想
選書・情報収集

③情報の取り出し

④情報の関係付け・記述

⑤交流・評価

本アイデアについては、「④情報の関係付け・記述」の段階で活用することができます。

- 科学読み物などを読み、分かったことや考えたことをまとめる際には、必要な条件を与えたり、教師がモデルを示したりして、一定のまとまった文章を書くように指導することが大切です。